

地域包括支援センターが 介護予防の 拠点となります



高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を送るためには、介護サービスをはじめ、福祉・医療・権利擁護などさまざまなサービスを包括的・継続的に提供していく必要があります。そこで、高齢者の生活を支える総合機関として、地域包括支援センターが設置されています。

市では、平成23年4月から薩摩川内市社会福祉協議会にセンター業務を委託しています。

また、平成25年4月から甌島圏域サブセンターを設置し、上甌島・下甌島それぞれに事務所を開設しています。お気軽にご相談ください。

主な事業

1. 包括的支援事業(地域支援事業)
 - ▼総合相談事業：高齢者の健康のことや介護方法・サービスの使い方について、高齢者や家族からの相談を、市内13カ所の在宅介護支援センターと共に受けます。また、訪問活動を通じて、実態を把握し、適切なサービス、関係機関・各種制度へつなぐなどの支援を行います。
 - ▼介護予防ケアマネジメント事業：二次予防事業対象者(主として要介護状態となるおそれの高い虚弱な65歳以上の方)が、要介護状態にならないように、介護予防事業

などが受けられるように支援します。

▼権利擁護事業：高齢者が「自分らしく尊厳ある生活」を送ることができるように、高齢者虐待防止・早期発見や成年後見制度の利用促進を行います。

2. 指定介護予防支援事業

要支援1・要支援2の認定を受けた高齢者に対して、介護予防支援計画を作成するとともに、計画に基づき適正な介護予防サービスが提供されるよう関係機関との連絡調整などを図ります。

【問合せ】

- ▼地域包括支援センター(川内地域・樋脇地域・東郷地域・入来地域・祁答院地域)
 - 〓永利町4107番地1(薩摩川内市総合福祉会館内)
 - ☎(24)33331
- ▼甌島圏域サブセンター 上甌島事務所(里地域・上甌地域)
 - 〓里町里1900番地2(薩摩川内市社会福祉協議会上甌支所内)
 - ☎(3)2880
- ▼甌島圏域サブセンター 下甌島事務所(鹿島地域・下甌地域)
 - 〓下甌町長浜1185番地2(甌島敬老園内2階)
 - ☎(5)1751

センターでは、専門職が連携して対応しています

保健師

介護予防事業対象者のケアプランの作成や介護予防の助言・指導をします。

社会福祉士

さまざまな相談の窓口担当(介護保険や各種制度、権利擁護などさまざまな相談を受け付け・対応します。)

主任ケアマネージャー

介護予防ケアプランの作成やケアマネージャーへの支援をします。



毎月19日は食育の日、6月は食育月間

「いただきます」から育む子どもの「からだ」と「心」

子どもにとっての食事は、栄養をとるだけでなく、五感を使ったさまざまな体験を通じ、思いやりや責任感、命を大切にすることを育みます。また、家族や仲間と囲む食卓には、自然と会話や笑いが生まれるものです。たかがごはん、されどごはん、日常のごはんに感謝を込めて、子どもの「生きる力」を養いましょう。



子どもの生活習慣病やその予備軍が増加！

偏った食生活や運動不足、ストレス、喫煙など…

大人と同じ生活習慣要因が子どもの世界まで入り込んできた結果、生活習慣病が増加しています。

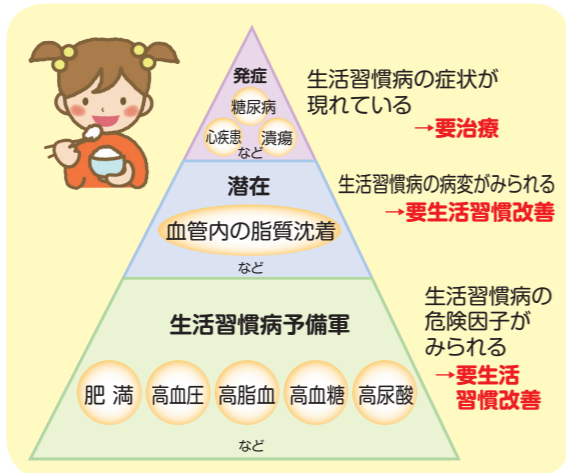
子どもを取り巻く問題

- ▼偏食や欠食など不規則な食生活
- ▼体を動かして遊ぶことが少ない。
- ▼周囲の大人のタバコや飲酒などの影響や習慣化
- ▼人間関係や塾、受験、不眠などのストレス

子どもの5人に1人が生活習慣病予備軍？

生活習慣病は、危険因子を取り除くことで予防できます。

家族の食生活を見直し、早急に改善することが必要です。

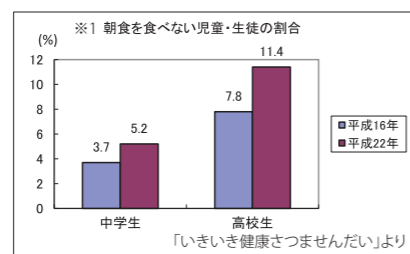


薩摩川内市の子どもの食習慣

おやつには、スナック菓子が多く、年齢が高くなるほど炭酸飲料の摂取がみられます。市販のお菓子やジュースには、砂糖や油・塩分が多く含まれているので、取りすぎには注意しましょう。

また、年齢が高くなるほど朝食を食べない子の割合が高くなっています。

(※1)親の朝食の欠食は、小学生高学年以降の朝食欠食の増加につながることを考えられることから、子どもの食事のみでなく、家族の食習慣を見直すことが重要です。



生活習慣病予備軍の子どものまま成長すると、若い頃から重篤な病気(心筋梗塞や脳血管障害、糖尿病など)になるリスクが大きくなります。旬の野菜たっぷりの主食・主菜・副菜のそろった日本型食事は、まさに健康食です。子どもたちが自分らしくいきいきと成長できるように、周りの大人も一緒に食生活の改善に取り組みましょう。また、豊かな食卓は子どもの「心」を育みます。愛情たっぷりの食事で、心にも栄養を送りましょう。

薩摩川内市 食育・地産地消フェスタ

- 【時】 〓6月23日(日)12時~16時
- 【所】 〓川内文化ホール 大ホール・ホワイエ
- 【基調講演】 〓13時30分~14時40分
- ▼演題 〓食べものにはドラマがある
- 〓心を育む食と農
- ▼講師 〓NPO法人 霧島食育研究会 理事長 千葉しのぶ氏
- ▼事例発表 〓14時45分~15時15分
- ▼例題 〓20年後のふつうをつくる
- ▼発表者 〓東シナ海の小さな島ブランド株式会社
- 代表 兼 百姓 山下賢太氏
- 【その他】 〓12時~16時 各団体による食育の展示、農産物・加工品の販売コーナー
- 【入場料】 〓無料
- 【問合せ】 〓
- ▼本庁農政課 ☎(23)5111
- ▼市民健康課(川内保健センター内) ☎(22)8811

【問合せ】=市民健康課健康指導グループ(川内保健センター内) ☎(22)8811